



長期間風速の測定を行うと、検出部先端の孔やメッシュにゴミが付着する場合があります。ゴミが付着した状態ですと冷却が十分に行われず、測定値が実際の風速より低く出る可能性があります。

測定した風速値を正常に保つため、長期間ご使用の場合は下記の要領に従って検出部の洗浄を行ってください。

【軽い汚れの場合】

柔らかい毛ブラシなどで孔やメッシュのゴミを除去し、検出部先端を水で洗浄してください。水洗い後は自然乾燥にて十分乾燥させてからご使用ください。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤を入れた60～70℃の温水に検出部先端を浸し、汚れが柔らかくなってから毛ブラシなどでゴミを除去し、検出部先端を水で洗浄してください。水洗い後は自然乾燥にて十分乾燥させてからご使用ください。

【油性の汚れの場合】

アルコールまたは揮発油に検出部先端を浸し、汚れが柔らかくなってから毛ブラシなどでゴミを除去し、検出部先端を水で洗浄してください。水洗い後は自然乾燥にて十分乾燥させてからご使用ください。

注意！以下の行為はおやめください

- 【1】シンナー系の溶剤は検出部自体を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 【2】超音波洗浄器の使用もおやめください。超音波の振動で部品や結線にダメージを与える可能性があります。
- 【3】洗浄後、検出部の乾燥にドライヤーなどは使わないでください。高温（100℃以上）の風を検出部にあてると破損の原因になります。
- 【4】検出部先端の孔やメッシュから硬い物などを入れて内部のステンレスパイプに触れないでください。内部ステンレスパイプやメッシュを変形させた場合、特性や測定結果に誤差が生じる可能性があります。
- 【5】図の洗浄可能範囲以外を水などで洗浄するのはおやめください。洗浄可能範囲以外は柔らかい布などで汚れを拭き取るようにしてください。